

明るい未来への一歩

防災減災に向けて！

横濱市会議員 市来えみこ

9月1日は「防災の日」地震と津波に加えて原発

です。本年度、私は「減事故という複合災害に苦

「災害対策推進特別委員会」しめられ、この14年間に

に所属しており、我が党に復興に向けて取り組

の先輩方と共に、東日本 まれてきたのか、様々な

大震災の被災地から減災資料や記録、証言をデー

対策を学ぶために福島県
タヤビジュアルで震災の

と宮城県を訪れました。
記録と記憶を教訓として

福島の大日本大震災・残す工夫がされていまし

原子力災害伝承館では、
た。本市にとっても教訓



市来えみこ

横浜市泉区生まれ(57歳)

青山学院大卒業／カルフォルニア州立大学

大学院言語学部修了／米国パラリーガル

家族：娘、両親、愛犬

070-9053-1968

✉ ichiki.emiko.yokohama@gmail.com

都筑区中川中央1-22-5#402

【プロフィール】
【事務所】

荒浜小の1階廊下（当時）に
自動車3台が挟まっている図

となるのは、災害後の避難のあり方や関連死者数が極めて多いことで、医療・介護スタッフへの支援が必須であることも、改めて痛感しました。

また、宮城県仙台市立荒浜小学校にも視察で訪れ、当時の校長先生から直接お話を伺うことができました。当時、津波に囲まれた校舎の緑色の屋上で、避難した人々が消防ヘリでの救出を求める姿を報道で目にしました

が、本校舎は被災の痕跡を鮮明に残しており、被災直後の様子がわかる展示などがあり震災遺構として残されています。生徒が助かった要因として地震の避難訓練だけでなく、震災が津波の避難訓練を実施した後だったことなどから、日頃の備えが必要であることや備蓄品の保管場所、トイレの確保、情報確保の重要性など実体験者である校長先生から教えていただき大変勉強になりました。

いよいよ今月9日から

いよいよ今月9日から令和7年第3回市会定例会が開会します。この度の視察で学ばせていただきましたことを市政に活かせるよう質疑して参ります。

地震の避難訓練だけでなく、震災が津波の避難訓練を実施した後だったことなどから、日頃の備えが必要であることや備蓄品の保管場所、トイレの確保、情報確保の重要性など実体験者である校長先生から教えていただきました。